

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	人と自然にやさしい乗鞍高原 トイレと花いっぱい事業
事業主体 (連絡先)	のりくら観光協会トイレプロジェクト実行委員会 (担当：中原由紀子090-8329-6357)
事業区分	産業振興 雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり ⑤ 大規模地震等に備えるための防災・減災対策
事業タイプ	ソフト
総事業費	852,052円 (うち支援金：661,000円)

事業内容

1. 協会各施設に花のプランター&ステッカー設置 (使用済携帯トイレを肥料とする)
2. 長野県戸隠へ研修 (携帯トイレ先進地視察)
3. トイレBOX3基増設並びにインフォメーション充実 (トイレマップや利用方法案内も充実)
4. 無料配布用携帯トイレ作成 (各種イベント・学習旅行にて配布)
5. アラウンド乗鞍岳携帯トイレサミット (第1回を29年4月に実施)



【7月戸隠研修会】



【9月携帯トイレブース設置】



【12月携帯トイレ改修BOX及び専用旗設置】

## 事業効果

- 昨年度以上にPRを強化し、トイレ利用ボックスが増加したことで、散策をあきらめていたお客様、あるいは乗鞍高原を訪れることをあきらめていたお客様の数を増加させることに繋がった。
- また、花卉栽培への利用事業で、観光地としてのイメージアップを図った。
- 28年度に対比し20パーセントの増客に繋がった（地元アウトドアツアー会社の統計による）。

## 【目標・ねらい】

- ① 携帯トイレ及び事業の地元内外への周知・宣伝
- ② 観光地としてのイメージアップ及び集客増大
- ③ 北アルプス南部地域を基軸とした携帯トイレ事業、広域連携
- ④ 各学習旅行・イベントなどでの無料配布を通じた、自然環境保護への啓蒙活動

## ※自己評価【 B 】

### 【理由】

目標・ねらいに挙げた4つのキーワードが少しずつ形になり始めている。周知宣伝方法については未だ模索している部分も多いが、観光客の携帯トイレ利用状況も目立ち始め、使用マナーもよいことから、この事業の手ごたえ及び必要性を感じている。また乗鞍高原だけにとどまらず、越境した相互理解及び連携も進んでおり、今後の展開が大いに楽しみである。そのほか、学習旅行や天空マラソン（春）・ヒルクライムレース（夏）などでの無料配布も功を奏し、クリーンでエコな観光地のイメージ戦略に沿ったPR活動が実を結び始めている。

## 今後の取り組み

- 使用済携帯トイレ回収人員の確保、及び人件費の捻出。
- 官民一体となった携帯トイレ先進地への視察及び研修
- 北アルプス南部地域を中心とした携帯トイレ事業の周知及び、連携体制の構築。
- 大規模災害時に備える緊急時トイレシステムの構築。
- 地元住民への周知及び定着と、観光客への積極的なアピール手段の構築。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある